

労働災害発生！ “交番検査で感電事故”

原因究明と再発防止に向けて申し入れ

10月11日、東京交番検査車両所において感電事故による労働災害が発生しました。新幹線鉄道事業本部管内では先月も感電事故が発生したばかりであり、会社の安全対策が問われます。

職場環境に問題はないのか？業務指示に問題はなかったのか？会社の安全風土に問題はないのか？など本質的な原因は何か？そして労働者を守るためにはどのような対策が必要なのか？が問われています。今回は幸い負傷者の命に別状はありませんでしたが、感電事故はまかり間違えば取り返しのつかない大惨事になる恐れがあります。

新幹線地本は10月21日、現場で働く労働者を守るために会社に対して申し入れを行いました。会社は早急に協議の場を設けて、再発防止に向けて真摯に議論すべきです。

《 申し入れ内容は以下のとおりです 》

1. 今回の感電事故に至る経過の詳細について明らかにすること。
2. 傷害の状態と会社の対応について明らかにすること。
3. 車両の損傷の状況と処置について明らかにすること。
4. 作業指示に関わる事柄において、以下について明らかにすること。
①作業指示内容及び判断の根拠について ②作業指示を発した管理責任者はどのような立場であるか ③作業指示の伝達経過の詳細について ④作業指示をする際、注意事項を伝えたか ⑤作業指示は適切であったか
5. 今回の感電事故発生の原因について明らかにすること。
6. 対策について明らかにすること。
7. 労災情報が未だに出ていないのは何故か明らかにすること。

新幹線地本は傲慢な会社の姿勢を許すことなく、組合員を守るため闘います！